

教育・文化

- 1 充実した教育環境で学べる
 - 1 教育内容の充実
 - 2 教育環境の整備・充実
- 2 豊かな心と体を育む
 - 1 青少年の健全育成
 - 2 生涯学習の推進
 - 3 文化・芸術活動の振興
 - 4 スポーツの振興
 - 5 国際交流・都市間交流の促進

- 1 充実した教育環境で学べる

- 1 - 1 教育内容の充実

1 . 現状と課題

- 幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎を培ううえで極めて重要な時期であり、幼児一人ひとりの特性に応じた教育の充実が求められています。
- これからの社会を生きる子どもたちには、基礎的な知識・技能や思考力、創造力など、「確かな学力」や「豊かな心」、「健やかな体」など知・徳・体のバランスがとれた「生きる力」を育むための教育が求められています。
- 各学校では、創意と工夫により地域の自然や文化等を生かした特色のある教育を推進するとともに、豊かな心を育む道徳教育や学級活動などの特別活動に、家庭や地域住民と連携して取り組んでいます。
- いじめや不登校等に対しては、引き続き生徒指導や教育相談体制の充実を図るとともに、適応指導教室の実施、学習支援員の派遣など適切な対応に努める必要があります。
- 特別に支援の必要な児童生徒等に対しては、それぞれに必要な支援・指導を積極的に推進する必要があります。
- 子どもたちが地域の一員として自覚がもてるように、家庭だけでなく地域との連携を深めるとともに、地域に開かれた学校づくりなど、多様性と柔軟性に富んだ学校運営の更なる充実を図る必要があります。
- 教育環境の充実と十分な教育効果を得るため、保護者や地域関係者の理解と協力を得ながら、学校の適正配置を推進していく必要があります。

2 . 前期基本計画の実績・評価

(1) 実施した主要施策・事業等

- 教職員の指導力向上を目指し、指導主事の学校訪問を通して教職員研修会の活性化に取り組みました。
- A E T（英語指導助手）を増員配置し、小学校の外国語活動、中学校の英語教育の充実に取り組みました。
- 学校図書館指導員の増員配置により、読書に親しむ環境づくりや読書活動の充実に努めました。
- いじめ防止対策として、学校内の教育相談の充実を図るとともに、早期発見、早期解決に全校体制で取り組みました。
- 不登校対策として、不登校傾向にある児童生徒に対し適応指導教室の実施や学習支援員の派遣に取り組みました。
- 特別に支援の必要な児童生徒のために生活指導員及び介助員を配置するとともに、関係教職員等を対象とした専門知識の習得等を目的とした研修会を開催しました。
- 幼稚園において、特別な配慮を必要とする幼児に対応するための支援のあり方について調査研究を実施しました。
- 「学校再配置計画策定協議会」を設置し、学校規模及び学校配置のあり方について答申を受けました。

(2) 市民の評価

- 市民アンケート調査の結果：「幼児教育や義務教育などの充実」に対する満足度

区分	満足	まあ満足	やや不満	不満	わからない	無回答
全体	4.0%	34.3%	16.6%	6.6%	27.0%	11.6%

3. 基本方向

子どもたち一人ひとりの特性や能力を伸ばし、豊かな心の育成を基本として、「確かな学力」、「生きる力」を育む教育の充実を図ります。

4. 推進施策の展開

(1) 幼児教育の充実

- 幼児一人ひとりの個性を尊重し、可能性を伸ばす教育の充実に努めます。
- 幼児期の教育の重要性を再認識し、地域との連携を図りながら、各幼稚園において特色のある取り組みを推進します。

(2) 学校教育の充実

- 新学習指導要領の完全実施に向けて、改訂の主旨の理解と円滑な移行について取り組みます。
- 基礎や基本の確実な定着と個性を伸ばす教育を推進し、自ら学び活動できる子どもの育成に努めます。
- 命を大切にし、他人を思いやる心を育てる「共に生きる教育」の推進を図るなど、「生きる力」を育む教育の充実に努めます。

(3) 不登校対策の充実

- 学校と家庭、関係機関との密接な連携を通して、不登校の未然防止に取り組みます。
- 大津島ふれ愛スクールをはじめ、適応指導教室や学習支援員の派遣などの不登校対策事業を通して、児童生徒の学校復帰に取り組みます。

代表的な目標指標	現状値	目標値	指標の説明等
不登校の児童生徒のうち登校できるようになった児童生徒の割合（％）	平成19年度	平成26年度	「学校復帰した児童生徒数 ÷ 不登校児童生徒数 × 100」 不登校：3か月以上継続して欠席した児童生徒
	34	50	

(4) 特色ある教育の充実

- ふるさとから学ぶ教育活動を通して、ふるさとを愛する心の育成に取り組みます。
- 地域と連携して豊かな体験活動を実施したり、環境問題や国際化・情報化に対応する能力を育てるなど、特色ある教育の充実を図ります。

代表的な目標指標	現状値	目標値	指標の説明等
A E T（英語指導助手）の人数（人）	平成19年度	平成26年度	A E Tの人数 平成21年度学校数：小学校 = 33校、中学校 = 17校
	4	8	

(5) 小・中学校図書館の充実

- 学校図書館図書標準¹に定められた蔵書数の確保と充実に努めます。
- 学校図書館活用推進員の配置を拡充し、読書活動の推進と学習支援の充実に図ります。

代表的な目標指標	現状値	目標値	指標の説明等
学校図書館図書標準の未達成の学校数（校）	平成19年度	平成26年度	学校図書館図書標準の未達成な学校数 平成21年度学校数：小学校 = 33校、中学校 = 17校
	29	0	
学校図書館活用推進員の配置学校数（校）	平成20年度	平成26年度	図書館活用推進員が配置されている学校数 平成21年度学校数：小学校 = 33校、中学校 = 17校
	2	8	

(6) 特別支援教育の充実

- 特別に支援の必要な幼児及び児童生徒のために障害児補助及び生活指導員・介助員を配置し、発達障害児等に係わる支援教育を充実します。

(7) 学校適正配置の推進

- 教育環境を充実させ十分な教育効果を得るため、小・中学校の学校適正配置を推進します。

5. 主要事業

- 特別支援教育推進事業
特別に支援の必要な幼稚園児のために補助職員を配置し、特別支援教育の推進を図る事業。
- 大津島ふれ愛スクール事業
小規模校のよさや特色を生かし、不登校及び不登校傾向にある児童生徒を大津島小・中学校に受け入れる事業。
- 学校図書館活用推進事業
司書資格を有し経験豊富な図書館司書を配置し、学校図書館の充実に図る事業。
- 英語教育推進事業
小・中学校にA E T（英語指導助手）を配置し、英語教育の充実と国際理解教育の推進を図る事業。
- 生活指導推進事業
特別に支援の必要な児童生徒のために生活指導員及び介助員を配置し、支援教育の推進を図る事業。
- 充実した学校生活サポート事業

地域の特性や人材を活かした特色ある学校づくりを推進するとともに、芸術劇場の鑑賞等の貴重な体験を通して、豊かな心と感性を育む教育に取り組む事業。

用語説明

1 学校図書館図書標準

旧文部省が設定した学校図書館の図書の整備を図る際の蔵書数の目標で、小・中学校別で学級数に応じた蔵書数が設定されている。

- 1 - 2 教育環境の整備・充実

1. 現状と課題

- 老朽化した学校施設については、計画的に改築・修繕を行っていますが、早期の耐震化が緊急の課題となっています。
- 学校給食は、5箇所の学校給食センターと2箇所の単独校（親子方式）により、全小・中学校と1幼稚園に給食を提供していますが、施設の老朽化が進んでいます。
- 栄養バランスのとれた安心・安全な学校給食の提供が求められています。

2. 前期基本計画の実績・評価

(1) 実施した主要施策・事業等

- 校舎等の定期的な安全点検や各学校からの要望に基づき、修繕・改修等を行っています。
- 校舎や屋内運動場など老朽化した学校施設を計画的に改築しています。
- 耐震第1次診断を実施し、その結果をもとに「幼稚園・学校施設耐震化基本計画」を策定しました。
- すべての公立幼稚園及び小・中学校の保健室、校長室、職員室、事務室に空調設備を整備しました。
- 平成20年（2008年）7月、周南市学校給食センター建設基本計画を策定し、新センターの整備に着手しました。

3. 基本方向

子どもたちが、安心・安全に学び、「生きる力」を育むことができるよう教育環境等の整備・充実に努めます。

4. 推進施策の展開

(1) 教育施設等の整備

- 定期的な安全点検を実施するとともに、施設の修繕・改修を進め、安全な教育環境の整備に努めます。
- 老朽化した施設については、計画的な改築・修繕を進めます。
- 耐震化が必要な施設は、計画的に補強工事などの耐震化を実施します。

代表的な目標指標	現状値	目標値	指標の説明等
幼稚園及び小・中学校の施設の耐震化率（％）	平成20年度	平成26年度	幼稚園及び小・中学校の全棟数に対する耐震性のある棟数の割合。 対象となる全棟数：174棟
	46.0	90.0	

(2) 学校給食の充実

- 「学校給食センター建設基本計画」に基づき、学校給食衛生管理基準¹に適合した給食センターを整備し、安心・安全でおいしい給食の提供に努めます。

- 学校等避難場所付近に施設を整備することにより、災害時の食事が提供できるようにします。
- 生産者の顔が見える安心・安全な食材を使用し、地域の特性を生かした学校給食に取り組みます。
- 学校給食を生きた教材として活用し、学校における食育の一層の推進を図ります。

5 . 主要事業

- 幼稚園・小学校・中学校施設管理事業
安全点検や修繕要望調査に基づいた施設の修繕・改修などの事業。
- 各幼稚園・小学校・中学校改修事業
外壁改修工事や屋根防水工事などの大規模な改修事業。
- 小学校・中学校屋体建設事業
老朽化した小・中学校の屋体建設事業。
- 幼稚園・小学校・中学校耐震化事業
耐震診断結果に基づいた耐震補強工事などの改修事業。
- 学校給食センター建設事業
新センターの建設、鹿野学校給食センターと大津島小学校調理場の改修事業。
- 学校給食管理運営事業
- 児童生徒・教職員健康管理事業
学校環境衛生の維持・改善に努める中で、児童生徒並びに教職員の健康保持・増進を図る事業。

用語説明

1 学校給食衛生管理基準

学校給食の実施に必要な施設や設備の整備、調理の過程における衛生基準など学校給食の適切な衛生管理を図る上で維持されることが望ましいとされる基準。

- 2 - 1 青少年の健全育成

1. 現状と課題

- 子どもを取り巻く社会環境の変化により、非行や不登校、ひきこもり、虐待、いじめなど、様々な問題が深刻化しています。
- パソコンや携帯電話などの普及により、インターネットを利用する子どもが増えてきていますが、同時に、インターネットの利用が原因の事件や事故も増加しており、子どもたちを犯罪から守る取り組みが急務となっています。
- 子どもたちの放課後の安全な居場所づくりを目的とした「放課後子どもプラン」を推進するため、放課後子ども教室と放課後児童クラブの連携を深める必要があります。
- 子どもたちの経験不足からくる問題に対応するため、自らが参加し体験学習できる機会の提供が必要です。
- 家庭、地域、学校、行政との連携を強化し、様々な分野にまたがる子どもの育成の施策を効果的、機能的に取り組むことが必要です。

2. 前期基本計画の実績・評価

(1) 実施した主要施策・事業等

- 周南市青少年健全育成プラン「元気こどもゆめプラン周南」を策定し、各施策を推進しました。
- 「周南市青少年育成市民会議」の活動を支援し、市民の手による「地域で子どもを育て、見守る運動」に取り組みました。
- 「放課後子ども教室推進事業」で地域の皆さんの協力、支援により、学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等を実施しました。
- 大田原自然の家を活用し、自然学習や生活体験の場を提供しました。
- 小中学生による「元気こども会議」、「少年の主張大会」や子どもが主役の「元気こどもゆめまつり」を開催しました。また、若者自らが企画実施する「成人式」や「周南やんちゃ祭」など、青少年の社会参加を進めてきました。
- 青少年育成センターでは、学校や警察署と連携し、少年の非行防止や環境浄化活動に取り組みました。

(2) 市民の評価

- 市民アンケート調査の結果：「青少年の健全育成」に対する満足度

区分	満足	まあ満足	やや不満	不満	わからない	無回答
20歳代～40歳代	1.4%	31.0%	24.6%	10.7%	30.7%	1.6%

「20歳代～40歳代」：青少年を子どもに持つと思われる親世代

3. 基本方向

家庭、地域、学校、行政が連携して子どもを見守り育てる活動を進め、自ら考え、自ら判断し、主体的に行動する子どもたちを育むことができる環境づく

りに努めます。

4. 推進施策の展開

(1) 健全育成活動推進のための連携強化

- 周南市青少年育成市民会議の活動を支援し、地域で子どもを見守り育てる活動を促進します。
- 青少年の健全育成に関わる組織、人材、活動などの情報を家庭、地域、学校が共有できる青少年育成協働のネットワークづくりを進めます。
- 青少年の健全な成長に資するため、情報の収集、提供及び発信に努めます。
- 家庭、地域、学校が連携した家庭教育等の子どもに関する学習機会の充実を推進します。
- 子どもたちが安心して遊び、学ぶことのできる放課後の居場所づくりを進めます。
- 青少年の健全育成を担う市民や青少年リーダーの育成に努めます。

代表的な目標指標	現状値	目標値	指標の説明等
放課後子ども教室推進事業 年間参加者(人)	平成20年度	平成26年度	放課後子ども教室の年間延べ 参加者数
	8,800	個別計画で 検討中	

(2) 青少年の社会参加の促進

- 学校や地域団体と協力して、子どものボランティア活動や地域活動への参加を促進します。
- 子どもの意見を尊重し、青少年の健全育成や地域づくりに子どもの意見を反映する機会の充実を図ります。

代表的な目標指標	現状値	目標値	指標の説明等
市イベント等への中学生・高校生ボランティア参加数(人)	平成20年度	平成26年度	1年間にイベント等へボランティアとして参加した中学生・高校生の延べ数
	1,184	個別計画で 検討中	

(3) 青少年を取り巻く有害環境への対応

- 学校や警察、関係機関との連携を強化し、非行の未然防止と環境浄化活動を推進します。
- パソコンや携帯電話等によるインターネットの適切な利用についての情報モラル教育の充実や、保護者等への啓発活動の充実を図ります。

5. 主要事業

- 青少年育成協働ネットワーク事業
周南市青少年育成市民会議と連携した地域ぐるみの青少年健全育成事業。
- 青少年育成センター事業
少年の非行防止(補導)及び環境浄化活動。
- 放課後子ども教室推進事業

放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用し、安心・安全な子どもの活動拠点(居場所)を設け、学習やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会を提供することにより、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する事業。

- 少年の主張大会事業

家庭、地域、学校を含めた社会全体が、児童・生徒の作品を通して、非行防止や健全育成の意識を高めるための事業。

- 家庭教育支援事業

子育てをする親が抱える悩みを解消するためのアドバイスをする講師を派遣し、子育てに関する学習の機会を提供し、子どもへの接し方などを再認識してもらう事業。

- 子育てステップアップ講座開催事業

学校行事などの機会を利用し、子育ての情報や知識を習得してもらう事業。

- 成人式開催事業

新成人の門出を祝福し激励するとともに、大人として認められた権利と責任に対する自覚を促すことを目的に、若者自らが企画し実施する事業。

- 体験活動ボランティア活動支援センター運営事業

青少年ボランティアを募集する側と、活動希望者とをコーディネートすることにより、円滑な体験やボランティアを支援する事業。

- 2 - 2 生涯学習の推進

1. 現状と課題

- 「周南市生涯学習推進プラン」に基づき、生涯学習の推進に努めています。
- 各地区公民館では、各種教室・サークル活動の支援や各種団体との連絡調整を行うほか、公民館利用者と連携してイベントの開催など、地域のコミュニティを支援しています。
- 多くの社会教育施設では老朽化が進んでいるため、施設整備を計画的に進めていく必要があります。
- 現在の生涯学習センターは、貸館機能や市民交流スペースがないほか、情報発信コーナーが不足するなど拠点施設としての機能が十分に果たせない状況にあります。
- 市内の社会教育施設や高等教育機関、民間教育事業者、NPO等が必要に応じて連携できる体制づくりや市民がいつでも学習情報を入手でき、学習相談や交流を行うことのできる新たな拠点施設の整備が必要です。
- 図書館では、市民の多様なニーズに対応するため資料・情報の収集、インターネットによる蔵書予約や移動図書館等のサービスを展開しています。
- 地域や住民に役立つ情報提供サービスなど、図書館機能の充実が求められています。

2. 前期基本計画の実績・評価

(1) 実施した主要施策・事業等

- 地域づくりへの興味関心を高めることを目的とした「団塊生き方塾（団塊世代きらめき支援事業）」や民間の自主的な活動として「周南再生塾」が開催されるなど、まちづくりを担う人材を育成する講座を開催しました。
- 地域の歴史を探り地域への関心を高めることを目的とした「周南ふるさと歴史講座」など特色ある講座を開催し、学習機会の提供を積極的に行いました。
- 市内5館の図書館情報システムを統合し、インターネットによる蔵書予約システムを導入しました。
- 家庭・学校・地域が連携して子どもの読書環境を整備し読書活動を進めるため平成20年（2008年）11月に「周南市子ども読書活動推進計画」を策定しました。

(2) 市民の評価

- 市民アンケート調査の結果：「生涯学習の推進」に対する満足度

区分	満足	まあ満足	やや不満	不満	わからない	無回答
全体	2.5%	29.8%	17.7%	5.5%	32.6%	12.0%

3. 基本方向

市民の自主的、継続的な学習活動を支援するとともに、学んだ成果をまちづくりに生かすための生涯学習環境の整備・充実に取り組みます。

4. 推進施策の展開

(1) 生涯学習推進体制の整備・充実

- 「(仮称)第2期周南市生涯学習推進プラン」に沿って、市全体で生涯学習を推進する体制を整備します。

代表的な目標指標	現状値	目標値	指標の説明等
しゅうなん出前トークの利用率(件)	平成20年度	平成26年度	しゅうなん出前トークの年間延べ利用件数
	232	300	

(2) 学んだ成果をまちづくりに生かすための環境の充実

- 市民の自主的、継続的な学習活動を支援するための環境の充実に努めます。
- 多様なニーズや、少子高齢化や環境問題をはじめとした現代的課題に対応した講座の開催など学習機会の提供に努めます。
- 学んだ成果を地域のまちづくり活動に生かすことができるような場を積極的に提供していきます。

代表的な目標指標	現状値	目標値	指標の説明等
生涯学習センターを拠点に活動するボランティア数(人)	平成20年度	平成26年度	生涯学習センターが主催する講座の企画や運営を行うボランティアの人数
	38	100	

(3) 社会教育関連施設の整備・充実

- 今後ますます高度化、多様化する市民のニーズに対応するため、生涯学習を推進する拠点施設「(仮称)学び・交流プラザ」を整備します。
- 老朽化した地区公民館などの社会教育施設は、計画的な整備・改修に努めます。

(4) 図書館の資料・情報及びサービスの充実

- 利用者の多様なニーズに対応した資料・情報の充実に努めます。
- 歴史や文化等に関する地域資料の収集保存や情報提供に努めます。
- だれもが利用しやすい読書環境の提供に向け、インターネットによる蔵書予約システムや移動図書館等のサービスを提供します。

代表的な目標指標	現状値	目標値	指標の説明等
市立図書館の図書資料数(冊)	平成20年度	平成26年度	市立図書館5館の蔵書数
	572,478	600,000	
館外貸出利用者延べ数(人)	平成20年度	平成26年度	1年間に市立図書館から館外に図書等の貸出を利用した延べ人数
	203,642	214,000	

(5) 子どもの読書活動の推進

- 学校図書館との連携を図りながら、図書館の児童図書コーナーの充実や幼児・児童を対象としたお話会の開催等により、子どもが読書に親しむことができる環境づく

りを推進します。

代表的な目標指標	現状値	目標値	指標の説明等
児童向け行事延べ参加者数 (人)	平成20年度	平成26年度	市立図書館で開催する児童向けの読み聞かせなどの行事への年間延べ参加者数
	1,640	2,000	

5 . 主要事業

- 生涯学習推進体制整備事業
「(仮称)第2期生涯学習推進プラン」に基づき新たな体制を整備する事業。
- 学び交流プラザ整備事業
生涯学習推進の中核的施設となる「(仮称)学び・交流プラザ」を整備する事業。
- 図書館資料整備事業
利用者のニーズに対応した資料を収集する事業。

- 2 - 3 文化・芸術活動の振興

1. 現状と課題

- 文化会館や美術博物館、郷土美術資料館などの文化施設を拠点に、市民に魅力ある音楽や美術に親しみ鑑賞する場の提供に努めています。
- 市内各地では、個人や団体自らが公民館等を活用した文化・芸術活動を行い、その成果を発表するための展覧会や音楽会等が開催されており、本市の文化・芸術振興に重要な役割を担っています。
- 市民の文化度を高めるため、文化会館や美術博物館などの文化施設で継続的な自主企画事業を展開し、質の高い芸術にふれる機会を提供していく必要があります。
- 市内には、国指定5件、県指定15件、市指定66件の指定文化財と、7件の登録有形文化財（平成21年（2009年）3月末現在）があり、また、各地域で伝承されている伝統芸能を保存する団体は25団体あります。
- 地域の歴史や文化は、貴重な地域の資源であり、今後も保護・保存に努める必要があります。
- 八代地区のナベヅルについては、渡来数が年々減少を続けており、減少傾向に歯止めがかかっていません。
- ナベヅルにとって快適な環境づくりが重要であり、ネグラ整備や餌場などの環境整備に取り組む必要があります。

2. 前期基本計画の実績・評価

(1) 実施した主要施策・事業等

- 文化会館や美術博物館において、コンサートや展覧会など文化振興財団と連携して開催しました。
- 伝統芸能大会を開催するなど、伝統芸能や民俗芸能など郷土文化の伝承に取り組みました。
- ナベヅルの増羽を図るため保護施設を整備するとともに、鹿児島県出水市からの9羽（平成20年度まで）の保護ヅルの移送事業に取り組みました。

(2) 市民の評価

- 市民アンケート調査の結果：「文化・芸術活動の促進」に対する満足度

区分	満足	まあ満足	やや不満	不満	わからない	無回答
全体	3.3%	32.8%	17.2%	6.7%	27.2%	12.7%

3. 基本方向

優れた文化・芸術にふれる機会を充実するとともに、市民主体の文化・芸術活動の振興や郷土の特色ある歴史や文化の伝承を図り、文化の香るまちづくりを進めます。

4. 推進施策の展開

(1) 文化・芸術活動の充実

- 関係団体と連携しながら質の高い舞台芸術、展覧会、講演会など、特色ある本物の文化・芸術の鑑賞機会の提供に努めます。
- 周南文化協会をはじめ自主的な活動団体や市民自らが行う市民参加型の文化・芸術活動の発表の場の提供に努めるとともに、こうした活動への市民の参加を促進します。
- 短歌などの創作活動を通じて子どもたちが文化・芸術にふれあえる機会を増やし、豊かな感性を育む機会の提供に努めます。
- 関係団体と連携しながら情報誌の発行やホームページの活用など文化・芸術に関する情報収集や市民への情報提供、情報発信の充実に努めます。

代表的な目標指標	現状値	目標値	指標の説明等
文化会館利用者数（人）	平成20年度	平成26年度	文化会館の年間延べ利用者数
	271,598	280,000	
美術博物館利用者数（人）	平成20年度	平成26年度	美術博物館の年間延べ利用者数
	112,790	115,000	
市美術展の出品点数（点）	平成20年度	平成26年度	市美術展への出品点数
	250	300	

(2) 文化財の保存と活用

- 文化財等の保護に努めるとともに、市民がふれあえる機会の提供に努め、積極的な活用を図ります。
- 周南郷土伝統芸能大会の開催などを通じ、伝統芸能や民俗芸能など郷土文化の伝承に努めるとともに、保存・伝承活動を支援します。
- ナベツルの保護については、ネグラ等の環境整備を進めるとともに、移送事業を継続します。

代表的な目標指標	現状値	目標値	指標の説明等
文化財指定等の件数（件）	平成20年度	平成26年度	国・県・市から指定された文化財や登録有形文化財等の数
	93	100	
周南郷土伝統芸能大会の参加団体数（団体）	平成20年度	平成26年度	周南郷土伝統芸能大会への参加団体数
	14	25	

5. 主要事業

● 文化施設整備事業

文化会館などの文化施設において快適な鑑賞環境、高いレベルの鑑賞機会などを提供する事業。

- 美術博物館特別展覧会開催事業
特色ある優れた芸術にふれる機会を提供する事業。
- 鶴保護対策事業
特別天然記念物「八代のツル及びその渡来地」の保護を進める事業。

- 2 - 4 スポーツの振興

1. 現状と課題

- 多様化するスポーツニーズへの対応や豊かなスポーツライフの実現に向けて、生涯を通じてスポーツを楽しむことのできる環境の整備に努めています。
- スポーツ人口のすそ野を広げるため、スポーツ教室やイベントの開催、またこれらに関する情報提供をしています。
- 子どもの体力低下が指摘される中、健全な心と身体を育成し、スポーツに親しむ機会を充実させるために、地域と学校との連携が求められます。
- 生涯スポーツを推進するためには、指導者の養成・確保が求められ、さらなる資質の向上に努める必要があります。
- 周南市体育協会や地域のスポーツ振興団体の活動を支援するとともに連携しながら、子どもから高齢者、初心者からトップレベルの競技者まで、個々のニーズに応じたスポーツ活動ができる体制づくりが必要です。
- 競技スポーツの振興を図り、プロスポーツや全国規模の大会を誘致、開催するためには、施設の整備充実や老朽化の著しい施設の改修などの整備が必要となっています。
- 平成23年（2011年）の山口国体の開催に向け、施設の整備・改修等に取り組む必要があります。

2. 前期基本計画の実績・評価

(1) 実施した主要施策・事業等

- スポーツ振興計画「元気しゅうなんスポーツプラン」を策定しました。
- 総合型地域スポーツクラブ¹の育成に努め、新しいクラブも設立されました。
- 地域のスポーツ団体の活動を支援し、市内全域32地区による周南市スポーツ振興委員会を組織し、研修会を実施しました。
- スポーツ活動の機会の提供として、スポーツ・レクリエーション行事を開催するほか、指導者、スポーツボランティア等の養成講座を実施しました。
- 全天候型の庭球場を整備する等、スポーツ施設の整備、充実に取り組みました。

(2) 市民の評価

- 市民アンケート調査の結果：「スポーツ・レクリエーションの振興」に対する満足度

区分	満足	まあ満足	やや不満	不満	わからない	無回答
全体	4.9%	35.6%	15.9%	5.5%	26.4%	11.7%

- 市民アンケート調査の結果：「スポーツへの取り組み」

週5日以上	週3、4日程度	週1、2日程度	月1、2日程度	ほとんどして いない	全くして いない	無回答
8.2%	12.0%	16.7%	12.1%	21.5%	25.8%	3.8%

3. 基本方向

だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる豊かな生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じた子どもの健全育成を図ります。

4. 推進施策の展開

(1) スポーツを楽しむ環境づくり

- それぞれのライフステージにおいて、興味や関心をもち継続してスポーツに親しめる機会や環境づくりに取り組みます。
- 市民のスポーツ活動を支える指導者やスポーツ事業の企画、立案者など多彩な人材の確保や養成に努めます。
- だれもが気軽に楽しむことができるスポーツ施設の確保に努めます。
- 野球場など山口国体の会場となる施設をはじめ、スポーツ施設の整備、改修を進めます。

代表的な目標指標	現状値	目標値	指標の説明等
週1回以上スポーツに取り組む人の割合(%)	平成20年度	平成26年度	週1日以上何らかのスポーツに取り組んだ人の割合 (平成20年度実施：周南市市民アンケート調査)
	36.9	50.0	

(2) 子どもの体力づくり

- 子どもの体力の向上を図るためラジオ体操や外遊び、スポーツの重要性の啓発に努めます。
- 多様なニーズに対応できるスポーツ指導者の養成や確保のため学校と地域が連携し、スポーツ活動の機会を提供することに努めます。

代表的な目標指標	現状値	目標値	指標の説明等
小中高校生の休日スポーツ実施率(%)	平成18年度	平成26年度	学校の休みの日にスポーツをしている子どもの割合 (平成18年度実施：周南市小中高校生のスポーツに関する市民意識調査)
	38.0	50.0	

(3) スポーツを極める人づくり

- 競技スポーツの一層の充実のために関係団体などが連携し競技力向上へ一体となった体制づくりや施設の整備に努めます。
- 指導者について、高い専門的な能力をもつ有資格者の養成や発掘、研修の機会を設け資質の向上を図ります。
- 山口国体をはじめトップレベルの競技大会を誘致、開催することにより、見る・触れる機会の拡充に努め、市民のスポーツへの関心を高め競技力の向上を目指します。
- 全国レベルの大会で活躍できるアスリートの育成を目指します。

代表的な目標指標	現状値	目標値	指標の説明等
スポーツ栄光賞受賞者の累計者数（人）	平成20年度	平成26年度	全国大会等で優秀な成績を収めた選手や団体に対する表彰の累積者数
	424	500	

5. 主要事業

- 地区スポーツ振興事業
市民が日常的にスポーツに親しむための地区スポーツの振興を図る事業（総合型地域スポーツクラブの推進）。
- スポーツボランティア養成事業
スポーツイベントや地区組織などでスポーツを「ささえる」人材を養成する事業。
- スポーツリーダーバンク事業
スポーツニーズに応えるため指導者の登録制度事業。
- 体育施設整備事業
体育施設の整備、改修する事業。
- 野球場リニューアル事業
電光掲示板の整備など周南市野球場をリニューアルする事業。

用語説明

1 総合型地域スポーツクラブ

人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、子どもから高齢者まで（多世代）様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できるものであり、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブ。

- 2 - 5 国際交流・都市間交流の促進

1. 現状と課題

- 姉妹都市として、タウンズビル市（オーストラリア）、デルフザイル市（オランダ）、サンベルナルド・ド・カンポ市（ブラジル）の3市と提携を結んでおり、行政交流をはじめ、青少年の相互交流等を中心に市民交流を進めてきました。
- 市内には39か国、約1,300人（平成21年（2009年）3月末現在）の外国人が暮らしており、留学生等を含め増加傾向にある中で、外国人にとっても暮らしやすいまちづくりを進める必要があります。
- 高度情報化社会の実現や世界のグローバル化により、ひと・もの・情報等の交流が活発化し、外国や外国人が身近なものになってきました。
- 国際交流を主体とした市民活動団体は増加傾向にあります。
- 平成20年（2008年）にツルを縁とした繋がりにより、鹿児島県出水市と友好都市の提携を行いました。今後、ツルの関連だけでなく市民相互の交流を促進していく必要があります。

2. 前期基本計画の実績・評価

(1) 実施した主要施策・事業等

- デルフザイル市及びタウンズビル市へ青少年訪問団を毎年、交互に派遣し、姉妹都市との友好親善に努めました。
- サンベルナルド・ド・カンポ市から少年野球チームを招請し、市内の野球スポーツ少年団との交流を図りました。
- 民間国際交流団体と協力し、様々な活動を行い、在住外国人との交流を深めました。
- 在住外国人のための日本語講座を関係団体と協力して開催しました。（24回/年）
- 中国の都市と新たな友好都市を目指した協議を行いました。

(2) 市民の評価

- 市民アンケート調査の結果：「国際交流など国際化への対応」に対する満足度

区分	満足	まあ満足	やや不満	不満	わからない	無回答
全体	1.4%	15.8%	14.8%	6.4%	48.6%	12.8%

3. 基本方向

海外や国内の地域の人々との交流を促進するとともに、国際社会に対応した人づくりや環境整備に努め、日本人住民と外国人住民の共生を推進します。

4. 推進施策の展開

(1) 多彩な国際交流の促進

- 姉妹都市を中心に市民レベルを中心とした国際交流活動を支援します。
- 民間の国際交流団体の活動を支援し、国際交流の機会をより広く、より身近に提供

することで、市民の国際理解を深めます。

- 国際理解を深め、国際性豊かな人材育成に努めます。

代表的な目標指標	現状値	目標値	指標の説明等
国際交流事業参加者数(人)	平成20年度	平成26年度	姉妹都市交流事業、地域国際交流事業への年間延べ参加者数
	500	1,000	

(2) 国際化に対応したまちづくりの推進

- 外国語による便利帳やホームページ、パンフレット、案内標示板の整備など、外国語による情報提供を進めます。
- 市民活動団体等と連携し、外国人の日本語習得のための学習や事業等に対する支援を進めます。

(3) 地域間交流の促進

- 友好都市である出水市とのツルを中心とした交流はもちろんのこと、様々な幅広い分野での市民レベルでの交流を促進します。

代表的な目標指標	現状値	目標値	指標の説明等
出水市との交流事業参加者数(人)	平成20年度	平成26年度	国内友好都市の出水市との交流事業への年間延べ参加者数
	100	500	

5. 主要事業

- 姉妹都市交流事業
姉妹都市との青少年相互訪問事業や教育、文化、スポーツ、経済等様々な分野での相互交流事業。
- 地域国際交流事業
国際交流団体への支援及び在住外国人のための環境整備、並びに地域住民との交流イベントの提供などの事業。
- 国内友好都市交流事業
出水市との民間団体を含めた相互交流事業。